


2022年度（2023年3月期）
第2四半期決算説明会

シチズン時計株式会社

2022年11月14日

2022年度第2四半期業績概要



決算のポイント

2022年度第2四半期累計（4-9月）実績

- 主力の時計事業を中心に売り上げを伸ばし、増収増益
- 為替差益の計上等により、経常利益は前年同期比39%増益
- 四半期純利益は前年同期比28%増益

2022年度通期業績予想

- 上期までの業績上振れを踏まえ上方修正
下期は消費動向の不透明感の高まりやコスト増を反映
- 売上高 3,030億円（前回予想比 +95億円）
営業利益 230億円（前回予想比 +5億円）
経常利益 275億円（前回予想比 +15億円）
当期純利益 200億円（前回予想比 +10億円）

2022年度配当予想

- 前回予想比 +4円 増配
通期 34円（中間 15円、期末 19円）

(単位：億円)	2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,357	1,476	+119	+8.8%
営業利益	106	123	+16	+15.6%
営業利益率	7.9%	8.4%	-	-
経常利益	120	168	+47	+39.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	98	126	+27	+28.1%
為替レートの影響	¥110/USD ¥131/EUR	¥131/USD ¥138/EUR	-	-

2022年度第2四半期累計（4-9月） セグメント別業績推移

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
■ 時計事業	620	733	+113	+18.2%
■ 工作機械事業	383	409	+25	+6.8%
■ デバイス事業	255	229	▲26	▲10.3%
■ 電子機器他事業	98	104	+6	+6.8%
合 計	1,357	1,476	+119	+8.8%
営業利益				
■ 時計事業	48 (7.8%)	88 (12.0%)	+39	+82.0%
■ 工作機械事業	58 (15.4%)	55 (13.5%)	▲3	▲6.1%
■ デバイス事業	15 (6.0%)	0 (0.1%)	▲15	▲98.5%
■ 電子機器他事業	7 (7.6%)	7 (7.1%)	+0	+0.3%
消去又は全社	▲23	▲27	▲4	-
合 計	106 (7.9%)	123 (8.4%)	+16	+15.6%

(単位：億円)	2021年度 2Q実績	2022年度 2Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	699	763	+63	+9.1%
営業利益	64	67	+3	+4.9%
営業利益率	9.2%	8.9%	-	-
経常利益	70	82	+12	+17.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	54	53	▲ 0	▲ 1.6%
為替レートの影響	¥110/USD ¥130/EUR	¥137/USD ¥140/EUR	-	-

2022年度第2四半期（7-9月） セグメント別業績推移

(単位：億円 / %：営業利益率)

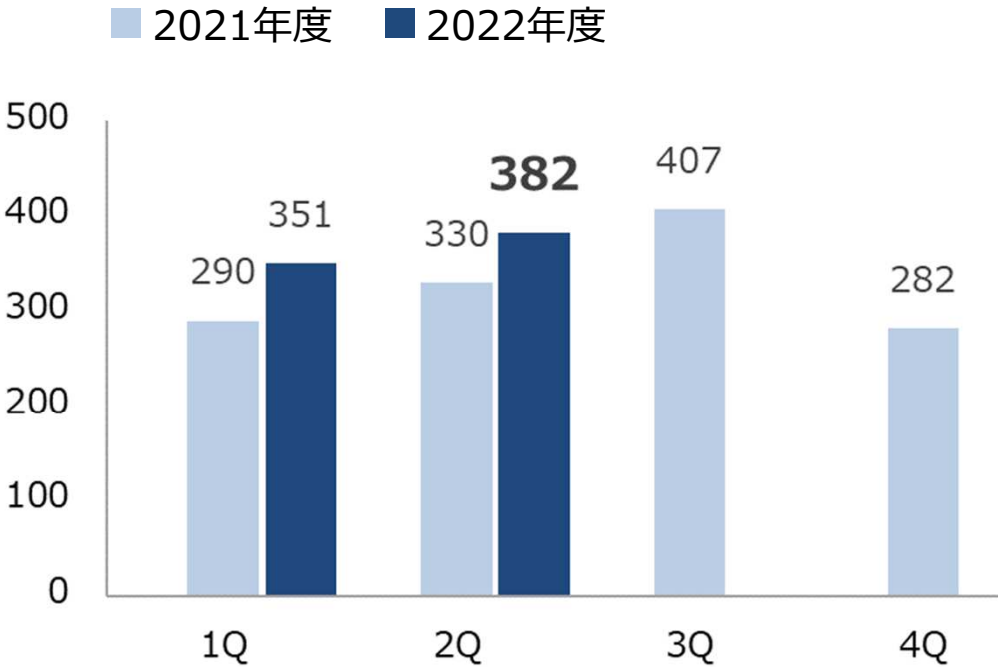
売上高	2021年度 2Q実績	2022年度 2Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
■ 時計事業	330	382	+52	+15.7%
■ 工作機械事業	196	209	+13	+6.7%
■ デバイス事業	124	119	▲4	▲3.9%
■ 電子機器他事業	49	52	+3	+6.6%
合計	699	763	+63	+9.1%
営業利益				
■ 時計事業	33 (10.1%)	48 (12.7%)	+15	+45.3%
■ 工作機械事業	32 (16.3%)	28 (13.5%)	▲3	▲12.0%
■ デバイス事業	5 (4.8%)	0 (0.6%)	▲5	▲87.7%
■ 電子機器他事業	3 (7.8%)	3 (7.6%)	+0	+3.9%
消去又は全社	▲10	▲13	▲3	-
合計	64 (9.2%)	67 (8.9%)	+3	+4.9%

時計事業 2022年度第2四半期業績推移

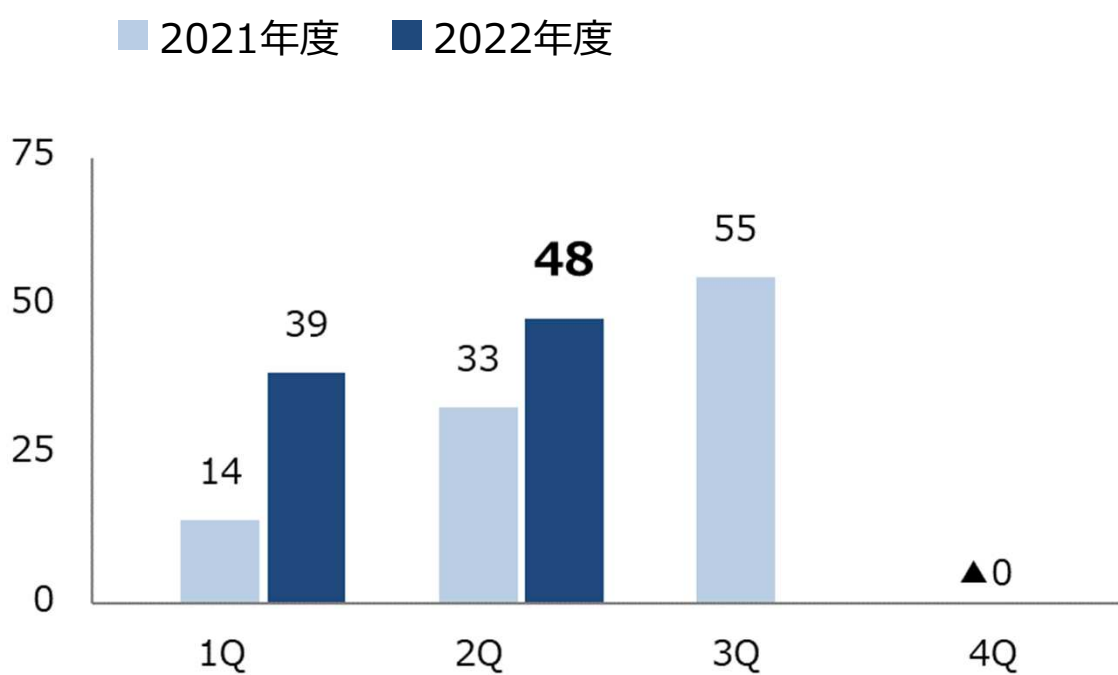
第2四半期 (7-9月)

- 完成品販売 中国市場は移動制限等の影響により減収となったものの、国内市場が増収に転じたほか、北米・欧州市場が好調を維持し、増収
- ムーブメント販売 機械式ムーブメントが低迷したほか、クォーツムーブメントは欧米市場の景気後退を懸念した慎重な動きとなり、減収

売上高(億円)

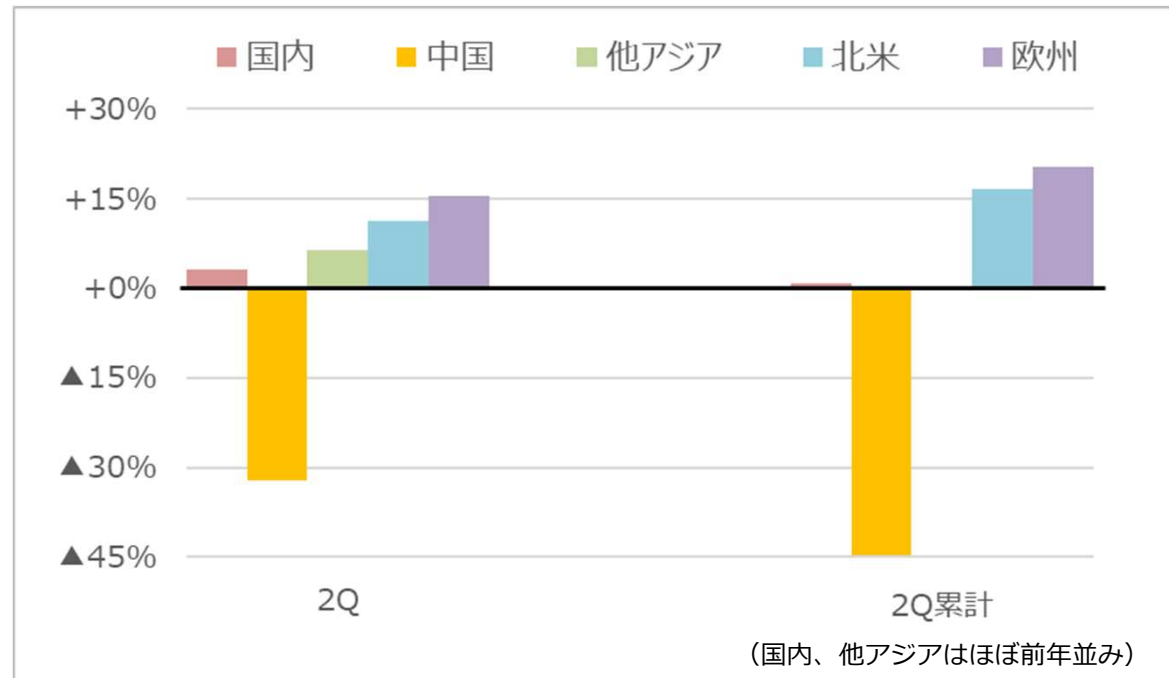


営業利益(億円)



前年同期比増減率 (現地通貨ベース)

※ 北米のみCITIZENブランドとBULOVAブランドを合算した増減
その他の地域はCITIZENブランドのみの増減率



北米、欧州の好調が全体を牽引した一方で、中国が大幅減

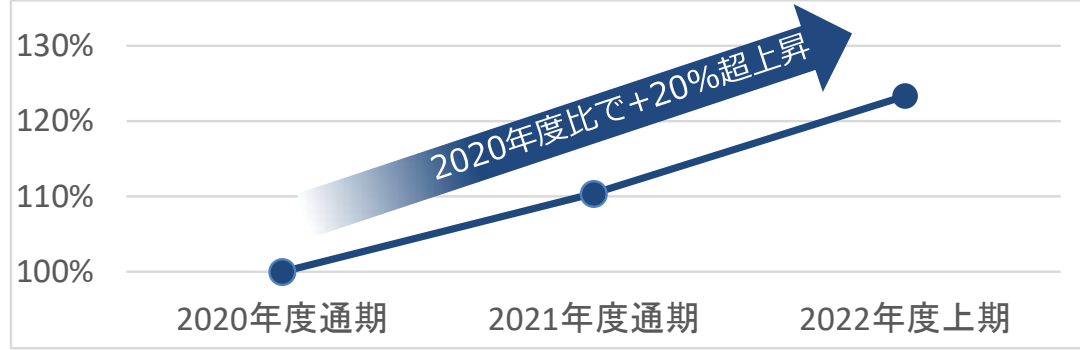
- 国内 人流の回復が限定的であった一方で、新製品等が堅調に推移し増収
- 中国 度重なるロックダウンや移動制限の影響を受け減収
- 他アジア 東南アジア、インドなどが経済活動の正常化に伴い回復傾向
- 北米 百貨店等の主要流通が好調継続。トラベル流通向けも回復
- 欧州 英国、ドイツ、フランス、スペイン等が好調に推移し増収

時計事業 北米市場における取り組み

ブランド力強化による販売単価の上昇

- 高付加価値製品の投入や値上げ実施に伴い販売単価・販売数量ともに上昇基調
- 百貨店や宝飾チェーンの回復に加えトラベル流通も大幅回復していることが販売単価上昇に寄与

北米販売単価増減率(現地通貨ベース)

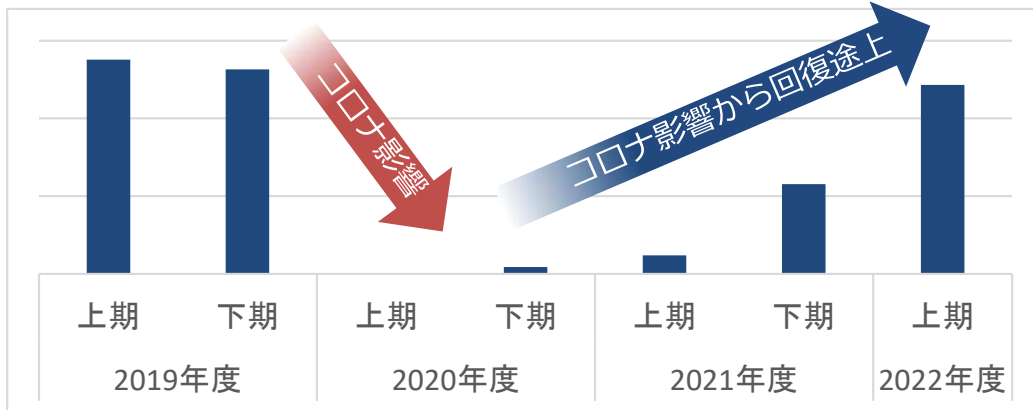


※ 2020年度を基準とした北米のCITIZEN、BULOVAブランドの販売単価増減率(現地通貨ベース)

北米トラベル需要の回復によるクルーズ船の販売強化

- 船内には巨大なショッピングモールのような空間が広がり免税時計店もある
- 免税効果も加わりCITIZEN、BULOVAブランドともに上位モデルが人気
- クルーズ船における販売を強化しており、特にBULOVAブランドの成長性が高い

北米トラベル流通の販売金額推移(現地通貨ベース)



※ 北米のCITIZENブランドとBULOVAブランドを合算したトラベル流通販売金額 (空港・市中免税店、クルーズ船等)



クルーズ船内の免税時計店





「LIGHT in BLACK」 2022 GREEN EDITION

- 「光」と「時」を「漆黒の空間から生まれる希望の光」になぞらえて、エコ・ドライブを搭載する主要なブランドで伝える「LIGHT in BLACK」2022 GREEN EDITION、5ブランド全6モデルを数量限定で発売
- 発売日 : 9月8日
- 価格 : 希望小売価格55,000~253,000円(税込)



「光を受けて成長する植物の生命力」をテーマにしたグリーンの文字板

 **PROMASTER**



『シチズン プロマスター』メカニカルダイバー

- 1977年発売の「チャレンジダイバー」のデザインを継承し、現代にアップデートした強化耐磁仕様ムーブメント搭載のメカニカルダイバーズウォッチ2モデルを発売
- 発売日 : 8月19日
- 価格 : 希望小売価格
96,800円(税込) ・ 121,000円(税込)

『シチズン プロマスター』エコ・ドライブ ダイバー

- ジンベイザメをモチーフとした「エコ・ドライブ ダイバー200m」限定モデル
- 発売日 : 10月20日
- 価格 : 希望小売価格 66,000円(税込)
- 世界限定 : 5,000本

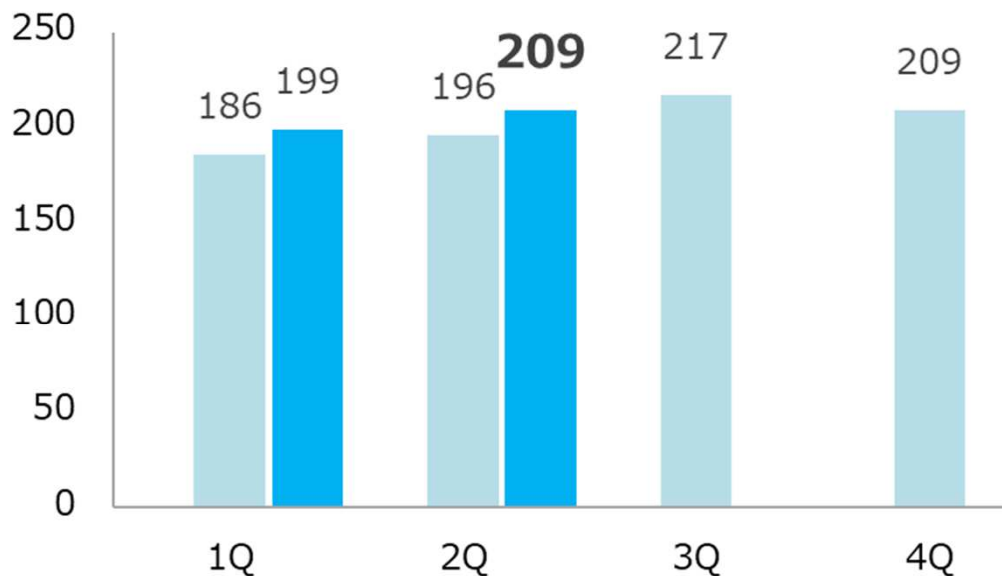


第2四半期 (7-9月)

- 国内販売 自動車向けが伸び悩むも、半導体・建機など幅広い業種が好調に推移し、増収
- 海外販売 欧州市場を中心とした旺盛な設備投資需要を受け、増収

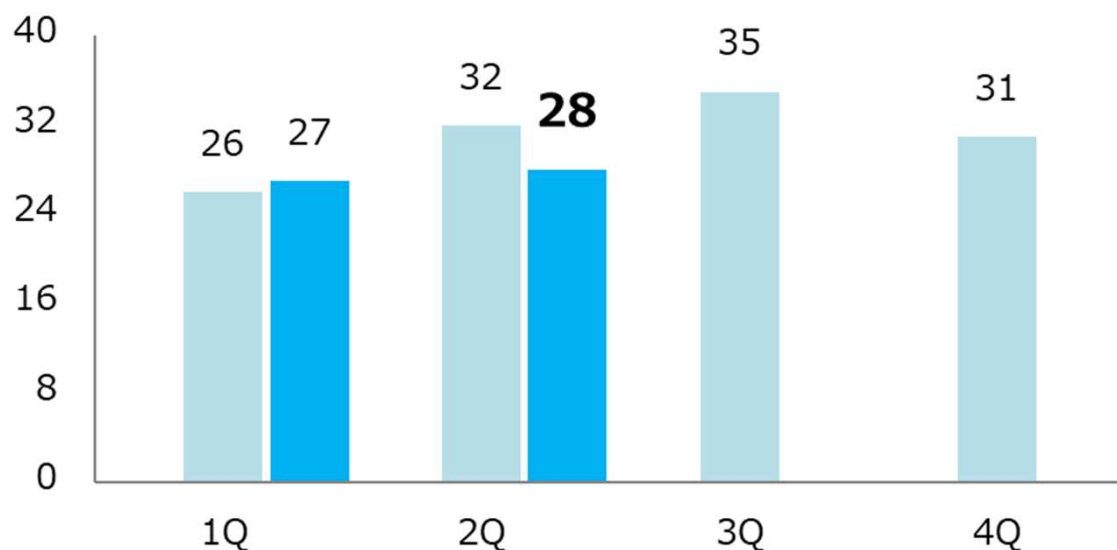
売上高(億円)

■ 2021年度 ■ 2022年度

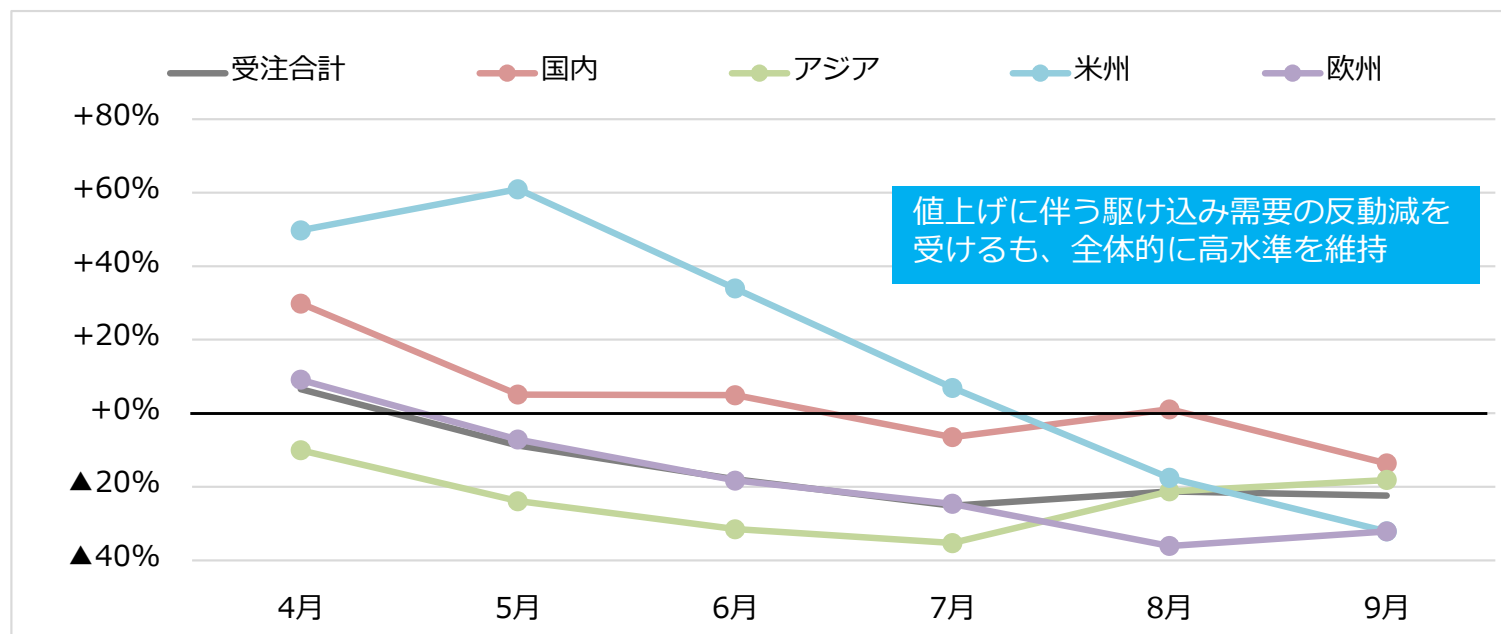


営業利益(億円)

■ 2021年度 ■ 2022年度



■ 前年同月比増減率(3カ月移動平均受注台数)



■ 2Q前年同期比増減率(四半期受注台数)

- 受注合計 ▲22%
- 国内 ▲14% 半導体、建機などが好調維持も、自動車の減産影響等を受け減少
- アジア ▲18% 韓国・インドなどは好調も、中国やその他地域が減少
- 米州 ▲32% 医療関連を中心に積極的な設備投資が継続しつつも、長納期対応に苦慮
- 欧州 ▲32% 受注は高水準を維持しつつも、自動車関連の設備投資に慎重姿勢が広がり減少

工作機械事業 売上高1,000億円に向けた事業基盤の構築

インド・テクニカルセンターを約2倍に拡張

- インド・テクニカルセンターを2022年10月にバンガロール東部に移転し、面積を約2倍に拡張
- 2024年までにインドでの販売台数を現状の3倍となる年間300台とすることを目指す



新テクニカルセンター外観



新テクニカルセンター内部

デバイス事業 2022年度第2四半期業績推移

第2四半期（7-9月）

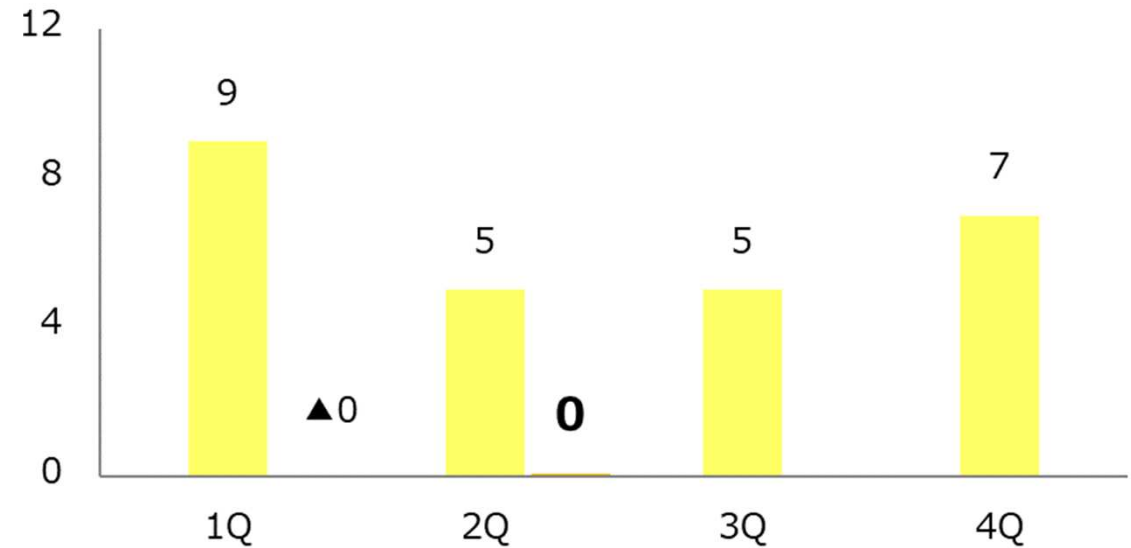
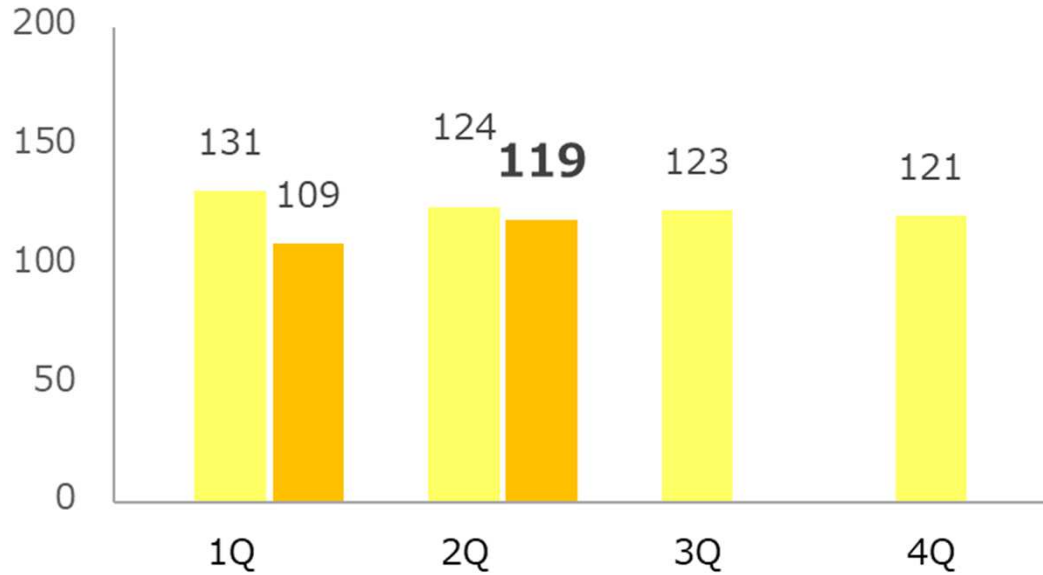
- 精密部品 自動車部品は自動車メーカーの減産等の影響を受け、減収
水晶デバイスはIoT関連需要に一服感が見られ前年並み
小型モーターは医療関連や半導体関連が堅調
- オプトデバイス 照明向けLEDが中国ロックダウンの影響等を大きく受け、減収

売上高(億円)

営業利益(億円)

■ 2021年度 ■ 2022年度

■ 2021年度 ■ 2022年度



2022年度下期及び通期連結業績予想



2022年度 下期及び通期連結業績予想

(単位：億円)	2022年度8/12予想		2022年度11/14予想		増減額	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期
売上高	1,510	2,935	1,553	3,030	+43	+95
営業利益	120	225	106	230	▲ 13	+5
営業利益率	7.9%	7.7%	6.9%	7.6%	—	—
経常利益	130	260	106	275	▲ 23	+15
親会社株主に帰属する当期純利益	100	190	73	200	▲ 26	+10
為替レートの影響	¥120/USD ¥130/EUR	¥120/USD ¥130/EUR	¥140/USD ¥140/EUR	¥136/USD ¥139/EUR	—	—

■ 為替影響額 (1円円安の年間影響額)

売上高	USD	EUR	営業利益	USD	EUR
	+9億円	+4億円		+2.5億円	+2億円

2022年度 下期及び通期連結業績予想 セグメント別業績推移

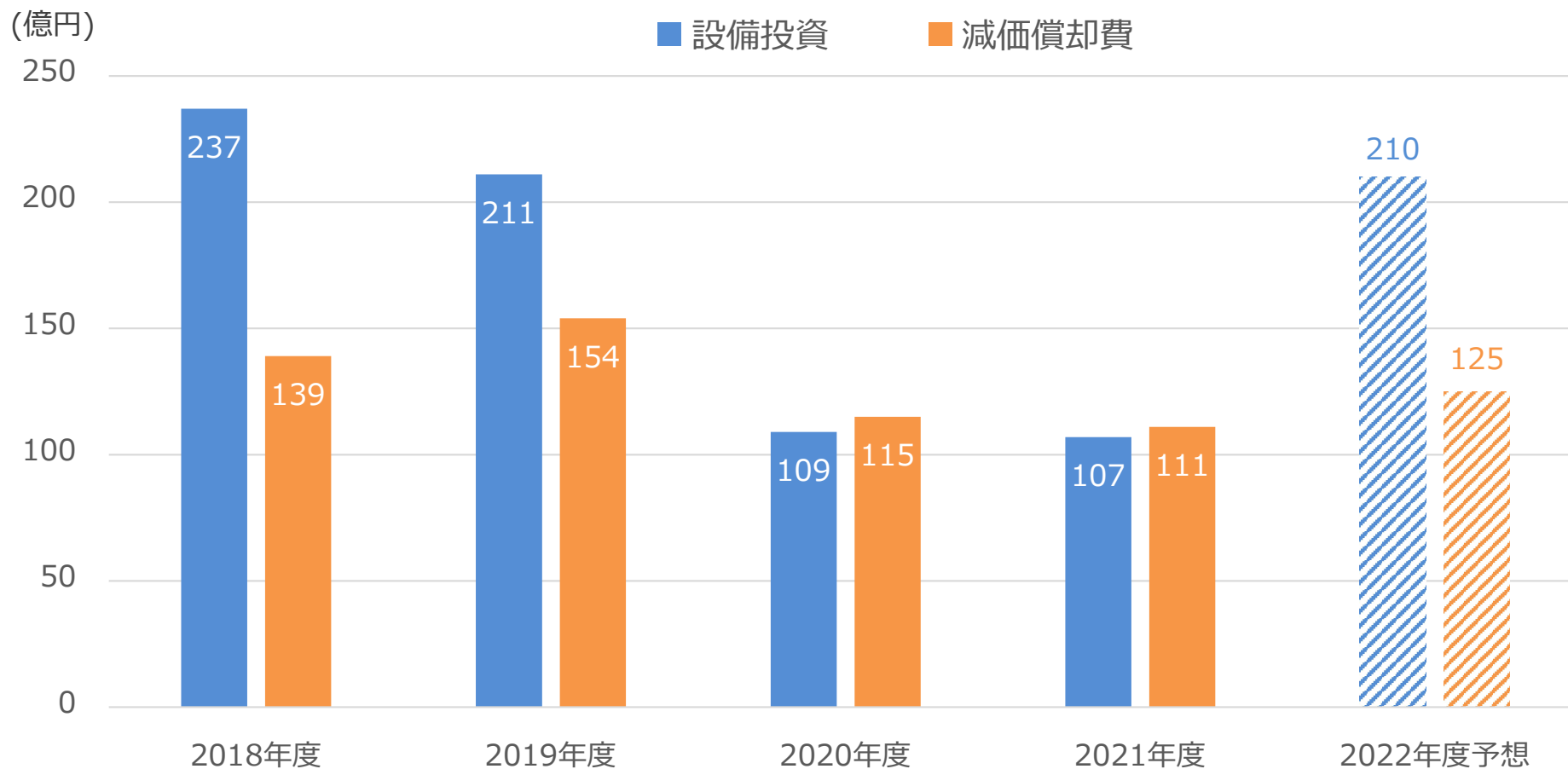
		(単位：億円 / %：営業利益率)		2022年度8/12予想		2022年度11/14予想		増減額	
		下期	通期	下期	通期	下期	通期	下期	通期
売上高	■ 時計事業	740	1,420	776	1,510	+36	+90		
	■ 工作機械事業	410	820	420	830	+10	+10		
	■ デバイス事業	260	510	250	480	▲ 9	▲ 30		
	■ 電子機器他事業	100	185	105	210	+5	+25		
	合計	1,510	2,935	1,553	3,030	+43	+95		
営業利益	■ 時計事業	61 (8.2%)	115 (8.1%)	71 (9.3%)	160 (10.6%)	+10	+45		
	■ 工作機械事業	64 (15.6%)	128 (15.6%)	56 (13.5%)	112 (13.5%)	▲ 7	▲ 16		
	■ デバイス事業	17 (6.5%)	29 (5.7%)	3 (1.5%)	4 (0.8%)	▲ 13	▲ 25		
	■ 電子機器他事業	5 (5.0%)	8 (4.3%)	2 (2.4%)	10 (4.8%)	▲ 2	+2		
	消去又は全社	▲ 27	▲ 55	▲ 28	▲ 56	▲ 1	▲ 1		
合計	120 (7.9%)	225 (7.7%)	106 (6.9%)	230 (7.6%)	▲ 13	+5			



CITIZEN

本プレゼン資料における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。
なお、億円未満は切り捨てになっています。

設備投資・減価償却費



- 「中期経営計画2024」に基づき時計事業の合理化投資および工作機械事業の成長投資を加速
- 投資配分イメージ 時計事業+工作機械事業 7割以上

貸借対照表

(単位：億円)	2022年 3月末	2022年 9月末	前年度 末比 増減額
流動資産	2,701	2,903	+201
現金及び 預金	1,109	1,015	▲ 93
棚卸資産	970	1,111	+141
固定資産	1,248	1,254	+6
有形固定 資産	748	763	+15
投資有価 証券	372	368	▲ 4
資産合計	3,949	4,157	+208

(単位：億円)	2022年 3月末	2022年 9月末	前年度 末比 増減額
負債	1,562	1,544	▲ 18
有利子 負債	661	652	▲ 9
純資産	2,386	2,613	+226
株主資本	2,040	2,111	+71
為替換算 調整勘定	166	326	+160
負債・純資産 合計	3,949	4,157	+208

キャッシュフロー計算書

	21下期	22上期	増減額
(単位：億円)			
営業活動によるCF	195	13	▲ 182
投資活動によるCF	▲ 55	▲ 100	▲ 45
フリーキャッシュフロー	139	▲ 86	▲ 225
財務活動によるCF	▲ 183	▲ 68	+115
現金及び現金同等物残高	1,112	1,033	▲ 79

